**9月議会一般質問　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　木村　愛子**

**１．安全・安心な暮らし**

**（１）医療的ケア児支援法の施行後の支援体制について**

**パラオリンピックで障がいのアスリートの活躍、選手の方の前向きな精神力、支えられている強靭な家族愛に、大きな夢と勇気を頂けました。日本中、世界中が多様性を認め、共生社会実現にオリパラを契機に前進しなければならないと思うところです。**

**6月に、家族の負担を軽減し、医療的ケア児の健やかな成長を図る事を目指して、医療的ケア児支援法が成立しました。これまでの努力義務から、支援が「責務」と明記され、保育所・園や学校などで医療的ケア児の支援体制拡充が求められます。**

**支援体制にむけて、具体的な職務内容など、来春に向けて市では検討に入っておられるのか、お伺いします。**

**（２）虐待の通報について**

**子どもさんへの虐待は、今、コロナ禍で問題が大きくなっていると報道もあります。市内の放課後等デイサービス事業で、事業主から児童に虐待があり、親御さんは市に届けたり、児童相談所に相談したり、お子さんを守るために動かれましたが、児相も個人情報でと対応が不透明でした。虐待の事実が判明したら、謝罪や保護者への説明責任を徹底してほしいし、事業所に対して市と県の役割、指導監督、責任の所在は明確なのか、お尋ねします。**

**誰もがのびのびと心豊かに成長できるよう、特に障がいのある学齢期の子どもの健全な育成を図る支援は、事業者の過失に対して改善命令を出したからではなく、取り返しのつかないことにならないよう、市全体が今一度安全・安心を徹底してほしい。**

**（３）鯖江インターから市内まちなかへの東西方向に道路新設について**

**これまで、平成19年に、まちなかの活性化と園芸野菜の振興を目的に、観光産業の案内所として、西山公園に道の駅を提案して、前牧野市長の「非常にいい提案だと思う」と答弁で、課題を検討、事業に着手していただきました。**

**西山公園に道の駅ができたことで鯖江インターからの行きやすい道路を、また、福井豪雨を経験した河和田線からは災害道路として東西線が弱いことを議会で申し上げ、都市計画のマスタープランに盛り込んでもらった経緯や商工会議所からの要望等がありましたが、**

**県への重要要望で、（仮称）西山公園・鯖江インターチェンジ連絡道路新設を、来年度は重点事項に独立させた狙いは、防災の観点はもとより、これからの広域観光ルートとして見通しが出たということでしょうか、ご所見をお伺いします。**

**（４）町内による市道除雪費について**

**除雪車が大型になり、市道に入りにくいことで、町内によっては、自治会として予算を組んで市の助成も受けて除雪機を購入されています。今年のような大雪で「労力も、経費も大変だった」と区長さんからの苦情です。この除雪機により作業した場合、1メートルあたり30円の除排雪市民協同事業ではなく、積雪量等を計算に入れることや、オペレーターが除雪に携わられているわけで、市道除雪業務委託と同じ単価にすべきと思います。除雪機購入に市が積極的にかかわる以上、土木予算の除雪費としてみるべきではと考えますが、ご所見をお伺いします。**

**（５）大規模盛土造成地について**

**熱海市で、7月の大雨による大規模な土石流が発生、甚大な被害をもたらしました。市内7か所の大規模盛土造成地の現状についてをお尋ねします。**

**（６）市職員の接遇について**

**コロナ禍で、役所も大変だと思われますが、職員の接遇についてお尋ねします。急ぐ仕事かどうかのメリハリつけた仕事、公平性のある丁寧な仕事、市民や区長からのお尋ねに「ホームページに載せています」では、意欲とやる気がかけているのかな、と思うところです。人材マネジメントの視点で職員の士気を高め、モチベーションが上がり、安全・安心な市民の暮らし、福祉の向上につながることを願ってやみません。ご所見をお伺いします。**

**今回は医療的ケア児支援法や障がいのある児童の放課後児童での問題を取り上げさせていただきましたが、**

**昨日のパラリンピック東京大会閉会式で、パーソンズ会長が閉会あいさつ、その中で、器の欠けやひび割れを漆などでつなぎ合わせて直す日本の伝統技法「金継ぎ」を言及されました。**

**越前漆器の産地では大切な技法のひとつ「金継ぎ」です。「誰もが持つ不完全さを受け入れ、隠すのではなく大事にしようという考え方です」と紹介。その上で「スポーツの祭典の間、私たちは違いを認め、**[**多様性**](https://search.yahoo.co.jp/search?ei=UTF-8&rkf=1&slfr=1&p=%E5%A4%9A%E6%A7%98%E6%80%A7&fr=link_kw_nws_direct)**の調和を見せました。私たちの旅をここで終わらせてはいけません。きょうは閉会式というよりも、明るくすべての人が共生できる未来への始まりと捉えてください」と訴えられました。
思いを鯖江から共有していきたい、と思います。**